

2019/6/26

小平都市計画道路3・3・3号新五日市街道線
事業概要及び測量説明会@中央公民館ホール
質疑概要(チャットアプリ形式)

市からの説明:約39分(別資料)

質疑応答:約1時間

- 質疑にあった表現を用いて簡潔にしました。
正確な内容は会議録等をご覧ください。
- 最初の質問が7問あったため、最初の質問に関しては一問一答形式で表現していますが、実際はほぼ全ての質疑が一括質問・一括回答(最初にまとめて複数の質問をし、それにたいしてまとめて回答する)方式でした。
- この報告は市議会議員個人(安竹洋平)として行っているもので、市役所等の公的なものではありません。内容の正確性を保証するものでもありません。

作成:小平市議会議員 安竹洋平

最終修正:2019/7/21

市民(K氏)

総工費と財源は？

約40億円。財源は都の『第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業』を活用。

- ・ 約9割が東京都負担
- ・ 約1割(4億円)が小平市負担を想定。

小平市

追記



【参考】みちづくり・まちづくりパートナー事業：

『都市計画道路の優先整備路線以外で、地元市町村から要望が強い路線を都と市町村が連携協力して整備を行い、交通の円滑化・歩行者の安全性・利便性の向上など、地域のまちづくりに寄与することを目的』

<https://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/content/000041072.pdf>

東京都 → 用地・補償等に係る費用

市町村 → 設計・工事に係る費用

市民

想定交通量は？

鎌倉公園へアクセスする、都市計画道路を活用した地域レベルの道路整備のため、公園利用者、小学校への通学、沿道にお住まいの限られた方が利用。武蔵野美術大学前の3・3・3号線(現状1日2,000台弱)と同レベルを想定。

小平市

市民

鎌倉公園の整備スケジュールは？

道路事業と共に進む。策定予定の『鎌倉公園整備基本計画』で見通しを示す。

小平市



優先整備道路に指定される基準の一つ「1日6,000台の交通量」は、30年以内に達成可能？

幹線道路としての整備とは違い、鎌倉公園へのアクセス、新小平駅周辺と地域のまちづくりを主体として考えた整備。都の優先整備路線とは異なった考え方。交通量については、市では骨格幹線道路の整備は行わないため説明できない。

追記



【参考】都市計画道路の優先整備路線は15事項の検証を経て決まる(つづく)。

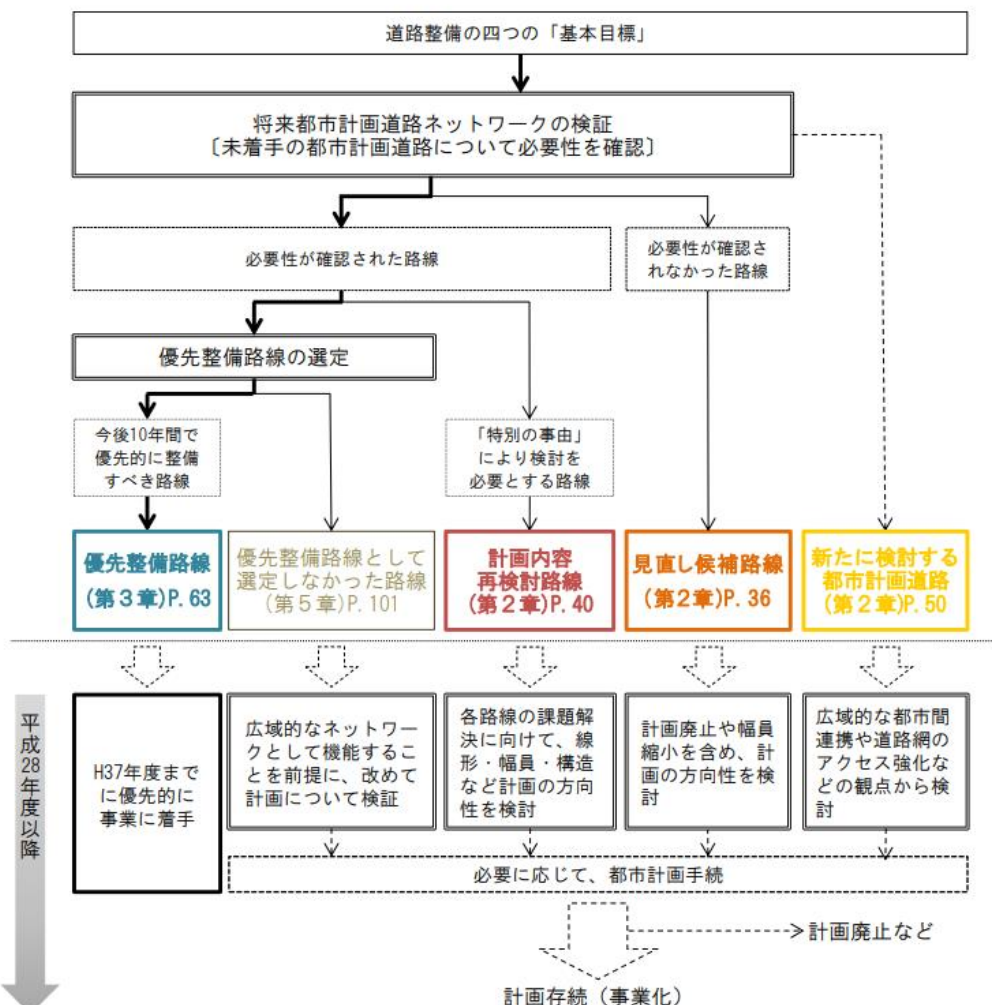


図 1-16 「東京における都市計画道路の整備方針」検討の流れ

「東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)」の公表について

http://www.toshiseibi.metro.tokyo.jp/kiban/tokyo/iken_kohyo.html



「交通処理機能の確保」の項で、1日6,000台以上を設定。

基本目標

検証項目

活力

防災

暮らし

環境

1	骨格幹線道路網の形成	活	防	暮	環
2	都県間ネットワークの形成	活	防		環
3	円滑な物流の確保	活			環
4	交通結節点へのアクセス向上	活		暮	
5	交通処理機能の確保	活		暮	
6	緊急輸送道路の拡充		防		
7	避難場所へのアクセス向上		防		
8	延焼遮断帯の形成		防		
9	災害時の代替機能		防		
10	都市環境の保全				環
11	良好な都市空間の創出				環
12	公共交通の導入空間	活		暮	
13	都市の多彩な魅力の演出・発信	活			
14	救急医療施設へのアクセス向上			暮	
15	地域のまちづくりとの協働	活	防	暮	環

「検証項目」に示した番号は、検証の順位を示すものではありません。

図2-1 将来都市計画道路ネットワーク検証の検証項目

検証項目 5

交通処理機能の確保

具体的には、幹線街路として決定されている都市計画道路を評価対象とすることから、こうした道路の最低限の規格として2車線道路を想定し、その担うべき交通量の目安として、交通容量（1日当たり12,000台）の半分として1日当たり6,000台を設定し、将来の交通量がこれ以上となる区間の都市計画道路は今後必要であると評価しました。

「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」の公表について

http://www.toshiseibi.metro.tokyo.jp/kiban/tokyo/iken_kohyo.html



3・3・3も上記「将来都市計画道路ネットワーク検証」の対象になるのか？東京都の方で検証が行われる予定なら、勝手に小平市で進めて良い話なのだろうか？

市民



小平市議会や委員会で
討議された？

市議会でもたびたび案件になり、平成
28年9月議会でも「新小平駅周辺の街づ
くりを求める声」として一般質問で取り上
げられている。

小平
市

市民



東京都は、小平市から強い要望がある
ため事業継続しているとのこと。
どのような強い要望があった？

まちづくり・道づくりパートナー事業を活
用して道路整備できれば、東京都の費
用負担で有意に進められるため、多摩
地区は声を上げてきた。平成28年に東
京都から声掛けがあった。小平市とし
て内部で鎌倉公園の整備に向けた基
礎調査を行っていたため、周辺道路の
整備も必要と考えた。
道路にかかる権利者のインタビューで
賛成意見が多かった。以上の経緯から
要望した。

小平
市

市民



平成30年3月の鎌倉公園等に関する住
民アンケートでは、自由記述に否定的意
見が多数。なぜ事業を進めるか？

https://www.city.kodaira.tokyo.jp/kurashi/files/59950/059950/att_0000002.pdf

様々な意見があったことは把握してる。
地域のまちづくりとして道路整備したい。
反対意見も、取り入れられることは取り
入れ、丁寧に進めたい。

小平
市

市民



鎌倉公園へアプローチするための道路
に40億円使うのはおかしい。

— 次の方の質問 —

市民(1氏)



私は3・2・8号線の事業取り消しを求めて裁判を進めている。地権者が大変。コミュニケーションが破壊され、高齢者が引越す精神的不安はすごい。残地保証もない。来年完成予定といいながら、いつ完成するか分からない。

市民



3・3・3号線が3・2・8号線と交差する点で騒音大気汚染について問い正してきたが、東京都からは「いつ計画されてどう進むか分からないから答えようがない」と無責任な回答。

市民



市民の健康や環境がどう被害を及ぼすか予想されていない。
小平市がなぜさきがけて大型道路の一部を作るのか。

市民



ムサビのところ、山王線、この間は2km以下になるかも。
2km以上で4車線なら事業計画前環境影響評価(環境アセスメント(アセス))をしなければならない。
なぜ小平市はブツブツ区切って、アセス出せない状況を作っているか。

市民



東京都は「小平市がやりたいんでしょ？ 私たちは頼んでない」とひややか。



地域のための道路なら28m以下でよい。
なぜ28m幅の道路を作る？

「新小平駅周辺地域のまちづくり」として行っている。東京都が進める「広域的な道路ネットワークの形成」としてではなく、鎌倉公園の整備とともに、3・3・3号線の整備を進めたい。

小平市

2km以上はアセスが必要。残りを東京都がやる場合、アセス対象は4車線以上1キロ以上となる。東京都の道路ネットワーク整備ではほとんどアセスをやっている気がする。

小平市

追記



環境アセスメント制度は、都の策定する計画が対象のもの（計画段階）と、それ以外が対象（事業段階）のものに分けられる。

東京都の環境アセスメント制度

都条例に基づく環境アセスメント手続の概要は次のとおりです。

計画段階環境アセスメント（都の策定する計画が対象）



環境配慮書

- ・ 事業計画の早い段階における環境アセスメント
- ・ 複数案の比較を行う

事業段階環境アセスメント（一定規模以上の事業が対象）



調査計画書 → 評価書案 → 評価書案に係る見解書 → 評価書

- ・ 事業実施前の設計・計画に基づき、環境影響を予測・評価
- ・ 環境保全のための措置の検討

事後調査

事後調査報告書

- ・ 事業着手後の追跡調査（工事の施行中・工事の完了後）

東京都の環境アセスメントについて

<http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/assessment/tokyo/index.html>

追記



都の策定する計画の場合は、4車線以上で1km以上。それ以外の場合は、4車線以上、2km以上がアセスの対象。

条例の対象となる事業（事業段階環境影響評価）及び個別計画（計画段階環境影響評価）の種類と要件は、下記の表に示すとおりです。

種類	対象事業の要件 (内容・規模の概要)	個別計画の要件 (内容・規模)の概要
1 道路の新設又は改築	高速自動車国道・自動車専用道路： [新設] すべて [改築] (車線数の増加) 1km以上* その他の道路（4車線以上）： [新設] 1km以上* [改築] (車線数の増加) 1km以上* *新設又は改築する区間の長さが1km未満でも対象事業の一部又は延長として実施するものは対象とする。 *その他の道路の改築は、改築の結果4車線以上になるものを含む。	その他の道路（4車線以上）： [新設] 2km以上 [改築] 2km以上

東京都の環境アセスメントについて

<http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/assessment/tokyo/index.html>

追記



では『みちづくり・まちづくりパートナー事業』は「都の策定する計画」に該当するのか。これは調べきれず。市の説明からは「該当しない」と想定していることに。

追記



となると、まずは「4車線以上、2km以上」に該当するかで判断される。今回は「将来的に4車線にする2車線」で、かつ距離は440mであり、該当せず。

またムサビ前の3・3・3号線から山王通りまでは2.4kmほど。市民の方が懸念されていた「2km以内に収めよう」という意図はなさそう。



追記



また「改築」もアセスの要件になっているので、アセスを出せない条件を意図的に作りだしているわけではなさそう。しかし、しっかり監視は必要。

今回は暫定系の整備。将来的に中央分離帯を取り、片側二車線の道路にするとされる。その際は改築となり、アセスをやらなくてよい話にはならない。

―― 次の方の質問 ――

市民(S氏)

それほど広くない地域に、これからつくる公園のためにあれだけ広い道路をつくるのは、びっくり。

市民

令和8年には公園が完成？
公園用地の地権者に向けても同じような説明会を開く？

道路の完成時期と同時期の開園を目指している。公園の方は道路と違って一部開園が可能。

―― 次の方の質問 ――

市民(I氏)

公園の認可はまだ得られてない？

まだ認可は受けていない。

市民

内容はないが、地権者が求めているので道路をつくってください、という話なのか。道路と公園、どちらが先か、話が行き来している。都と市で責任転嫁の印象。しっかり説明を。

整理すると:

- 都市計画公園の整備に伴って都市計画道路の整備をする
- 公園はまだ事業認可準備も進んでいない
- 道路はまだ事業認可申請もしておらず、事前準備の段階
- 市の街づくりとして両方並行に進めたい
- 道路と公園の整備スピードをまったく同じにするのは難しいため、道路の方が先になり、公園が部分開園になるかもしれない

市民

ということは、小さな公園のために道をつくることになる可能性もあるということか？

都市計画決定自体はその広さにおいて行われており、その広さを目指して行っている。一部開園の可能性もある。

市民

地権者へのアンケート調査の話。事業を進めるためのアンケート調査という記載はなく「どんな公園がいいですか？」というような、なにこれ？というチラシが入っていたが、そのことか？

28年に配布したのでそのことかと。

追記

平成29年に配布し、30年3月にまとめたアンケートのことと思われる。
https://www.city.kodaira.tokyo.jp/kurashi/files/59950/059950/att_0000002.pdf





たしかにこのアンケートの内容は、事業に対する市民の賛否を問うようなものではない。自由意見のところに賛否両論の回答が得られている。事業計画に対する賛否を問うような調査は行われたのだろうか？

【 調 査 票 】

■ あなたご自身についてお伺いします。該当する ☐ にレ印を付けてください。

- 問1 性別 ☐ 男性 ☐ 女性
- 問2 家族構成 ☐ 単身 ☐ 夫婦のみ ☐ 二世帯（親子） ☐ 三世帯（親と子と孫） ☐ その他（ ）
- 問3 年 齢 ☐ 10代 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代以上
- 問4 在住年数 ☐ 5年未満 ☐ 5年以上～10年未満 ☐ 10年以上～20年未満 ☐ 20年以上

■ あなたがよく利用する公園についてお伺いします。該当する ☐ にレ印を付けてください。

※問5(1)のみ記入形式です

問5 よく利用する公園名（市外でも可）と利用頻度について

- (1) 公園名（1つだけ） (2) 利用する頻度（1つだけ）
- () ☐ ほぼ毎日 ☐ 週に数回 ☐ 月に数回 ☐ 年に数回

問6 問5で回答した「よく利用する公園」の利用目的（いくつでも）

- ☐ 花や緑などの自然を楽しむ ☐ イベント等の参加
- ☐ 散歩や健康づくり ☐ 友人と交流、遊ぶ
- ☐ 親子で遊ぶ ☐ 園内の施設利用
- ☐ くつろぐ ☐ 通り道として
- ☐ その他（ ）

問7 問5で回答した「よく利用する公園」に満足していますか？（1つだけ）

- 満足 やや満足 どちらでもない やや不満足 不満足
- ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

■ 整備を検討している鎌倉公園についてお伺いします。該当する ☐ にレ印を付けてください。

問8 鎌倉公園を整備する場合、どのようなイメージの公園がよいと思いますか？（いくつでも）

- ☐ 花や緑などの自然と触れ合うことができる公園 ☐ 多様な生き物が生息できる緑豊かな公園
- ☐ 自然体験や農体験ができる公園 ☐ 遊具があり、子どもが安心して遊べる公園
- ☐ スポーツや健康づくりを楽しむ公園 ☐ 防災機能を有した公園
- ☐ 広場のある公園 ☐ その他（ ）

小平都市計画公園3・3・1号（鎌倉公園）等に関するアンケート調査結果報告書

https://www.city.kodaira.tokyo.jp/kurashi/files/59950/059950/att_0000002.pdf

- ☐農産物直売所 ☐カフェ・レストラン ☐かまどベンチやマンホールトイレなどの防災施設
☐子ども複合遊具 ☐健康遊具 ☐バーベキュー場 ☐野外ステージ
☐ビオトープ空間（多様な生き物の生息・生育の場） ☐その他（

- ☐農業体験 ☐生き物観察会 ☐音楽・演劇イベント ☐地域の催しもの
☐ウォーキングイベント ☐公園ボランティア活動 ☐その他（ ）

■ 小平3・3・3号線（府中街道～山王通り）の整備についてお伺いします。該当する □ にレ印を付けてください。

- ☐内容を理解している
☐以前から聞いたことはあるが詳しくは知らない
☐8月下旬に市より配布された「小平市からのお知らせ」（都市計画道路の現況調査について）の案内により知った
☐聞いたことがない
☐その他（ ）

問12 小平3・3・3号線(府中街道～山王通り)の整備に期待することについて伺います。
(それぞれの項目で、お考えに当てはまる□にレ点を付けてください。)

	思う	どちらでもない	思わない
(1) 鎌倉公園へのアクセスの安全性	☐	☐	☐
(2) 新小平駅周辺地域のまちづくりの促進	☐	☐	☐
(3) 緊急車両の通行や火災の延焼防止など、防災面の強化	☐	☐	☐
(4) 歩行者や自転車の通行の安全性・快適性	☐	☐	☐
(5) 街路樹の整備や無電柱化の推進などの景観形成への配慮	☐	☐	☐

■ 最後に、鎌倉公園や小平3・3・3号線（府中街道～山王通り）などの周辺基盤整備に関して、ご意見やご感想がありましたら、下記の枠内にご記入ください。

--

ご協力いただきありがとうございました！

小平都市計画公園3・3・1号(鎌倉公園)等に関するアンケート調査結果報告書

https://www.city.kodaira.tokyo.jp/kurashi/files/59950/059950/att_0000002.pdf

市民(T氏)



道路がきっかけで武蔵小杉のような素晴らしい都市に生まれ変わると想像している。

市民



道路ができて区画整理されていないと素晴らしい街にはならない。そういう予定はあるか？

現時点で区画整理の話はない。
土地所有者の意向があり、組合を設立して、なら可能性はある。
農業をやっていきたいということなら、市が強引に区画整理はできない。
ご相談は地域整理支援課に。

小平市

—— 次の方の質問 ——

市民(S氏)



(道路の方の)畑の買収は楽だが、鎌倉公園の方は民家がある。7年ちょっとの間で私たちの住んでいるところがどうなるのか、不安の中で過ごさなければならないのか。今日来たが余計に分からないまま。

市民



青梅街道、たかの街道もある。歩いて4分。その間に28mの道路を作る。片側一車線を(作ってから)、二車線にする。ムダなことをするなど。

市民



公園一緒にやるなら早めに相談を。

理想はすべての開園。
公園は一部でも作ることが可能。
今申しあげられるのはこれだけ。

市民(S氏)

不安でずっと待ってろというのか？

市民

こちらが嫌だと言えばやらないのか？

今年度中に整備基本計画をつくる。その後ワークショップを開きご意見を伺う。

市民

順番が違うんじゃないのか。
道路を先に開いたあとに公園をやる
という順番が一番怖い。

公園はデザインが重要。ワークショップを進めながら作りたい。
不安な気持ちは分かるが、今年度で基本計画を策定するのでそれをお待ち頂きたい。

市民

公園のために道が必要なのかという根本にかかわる。どうなのか？

公園の整備についてはどうしても必要になる。たかの街道しかないので、それは狭すぎるのではないかと思います。

公園をつくるためにあの道路というふう
に私どもは認識している。そのように進
めていきたいと思っている。

—— 次の方の質問 ——

市民(S氏)



公園へアクセスする人は歩行者や自転
車ユーザーではなく、車ユーザという前
提か。「たかの街道だけでは狭い」という
発想はそういうことですね？

市民



計画で2.8haと大きな公園を作るといっ
ても、まったく見通しがたってない。その
ために車を使う人のための道路が必要
なのか。
公園ができてから道路整備で十分じゃ
ないのか？

市民



いまある鎌倉公園のすぐ南側に新築民
家が3件くらい。公園を造る計画が昔か
ら進んでいるなら、なぜ新築認可する？
そういう怒りもある。

市民



公園を広げていくなら、山王通りがあれ
ば新しい道路は必要ない。
本当に必要になってから道路をつくれ
ば良いのではないかな。

鎌倉公園へのアクセス道路という効果だけをクローズアップしてきたが、他にも

- ・ 新小平周辺のまちづくりの促進
- ・ 地域内道路ネットワークの形成
- ・ 災害時の一時避難所になっている小平第15小学校へのアクセスの利便性や安全性の向上

という鎌倉公園へのアクセスという効果以外にも併せ持っている道路。

都市計画決定がされている敷地内での建築については、立てられるものの制限、階数や構造に制限はあるが、立ててはいけないというものではないので、その制限の範囲内であれば新しい建物は立てられることになっている。

計画断面図にあるように幅の広い歩道を設置する。なおかつ自転車と歩行者の道路を構造的に分離し、歩行者等の安全性も確保するような道路づくりを目指している。

車のためではなく、徒歩や自転車で公園へ来園する方のためにも活用する。

追記



最後の質問は「必要になってから道路をつくれれば良いのでは？」だったが、司会者の勘違いにより答弁漏れになってしまった。答弁漏れを防ぐためにも、市民との対話会では、まとめて質問し、まとめて回答する方式（一括質問一括答弁）ではなく、一つずつ質問し一つずつ回答する方式（一問一答）が良いのではないだろうか。

市民(K氏)



令和8年に一部開園として、それを過ぎてからは縮小した規模になるのか、それから先も段階的に開園するのか？

市民



住居の移転の代替地について、金額以外のところで折衝はできるのか？

市民



移転する必要があるなら令和何年ごろに移転しなくてはならないのか？

市民



公園整備の説明会は行われるのか？

公園の用地の範囲は2.9ha。どこを行うかということ。既存宅地の方々とは今後ご相談。公園は公共の空地なので必要。個別にご相談させていただければ。

小平市

補償は金銭による補償のみ。土地は各自ご自身で探してもらう。

小平市

事業認可を取った後、用地説明会を行い、皆さんの家の物件調査に入る。物件調査前に出てくださいという話にはならない。今後説明会を行っていく中で、事業認可をいつ取るか、用地説明をいつ行うか、スケジュールの説明をする。

小平市

今年度はまず基本計画。(説明会は)そのあと、早ければ来年度に行く。

小平市

— 次の方の質問 —



部分開園は平成8年までに全部の買収ができないと踏んでそういう発言をしているという理解でよいか？

そういうこと。全部の買収が終わらない可能性がある。生産緑地があるのでそこを中心にとということでご理解頂きたい。

小平市

―― 次の方の質問 ――

市民



農家の要望が多いとのことだが、たかの街道沿いに梨園が何軒もある。道路で分断される方も要望されているのか？全体の農家数と、分断される農家のうち、どれくらいが賛成か、内訳は？

市民



新小平のまちづくりのためということだが、小川西のような、組合のような地元民も含んだ準備はなされているのか？

農家は概ね20件あり、概ね賛成。

補足すると、全員が農家ではなく住宅の方も混在。現在22件捕捉。用地測量業務で地権者の人数が判明する。道路整備については、20名前後の方からは、概ね賛同を得ている。

公園の話道路の話と持っていくと本来と違った話になってしまう。道路担当部署としては、道路整備にかかる方にお話を伺った。公園の方については、違う考え方を持っていると伺っている。

小平市
小平市

小平市

組合について、現時点ではそういった話は聞いていない。

再開発事業について、小平市は組合施工の事業をバックアップしている。市施工でも実施は可能だが、市施工のケースは想定していない。

組合施工という話は湧き上がっていない。再開発ではなくても区画整理事業とかそういった事業も組合施工でできるので、今後そういったことが出る可能性もあるが、現在は聞いていない。

以上で説明会終了

安竹の感想



- 公園と道路の開発は、市としてすでに決定した前提で物事が進んでいる。遠い昔に決定された都市計画事業の「賛否」については、これまで住民の声を聞くタイミングはあったのだろうか？
- 市からの回答は、答弁漏れ、要点ズレの場面が多く、また司会者が質問を一旦まとめるといった時間のムダも感じた。一括質問・一括回答方式ではなく、一問一答方式にし、最初は一人1~2問の質問にとどめ、時間が余れば残りの質問を、という風にされた方が良いと感じる。
- 一問一答方式と併せて、お互いに座ったまま、マイクを握ったままのやり取りが早い。
- 今回、市からの説明は約40分、質疑応答は約1時間。集中できる時間的には良い。ただ今回質疑の時間は足りなかった模様。
- 質問は事前に集めておくと良いと感じた(チラシにその旨を記載)。お互い頭の中を整理して臨める。
- 市からは「窓口で質問を」とのこと。もちろん必要だが、窓口質問は公開されないことや、心理的障壁があることなどから、説明会における質疑の機会は重要。
- 会議録の公開も検討する。会議録があれば他の市民に再度説明する必要も減る。市民参加の委員会方式にならってICレコーダーで録音し、市民ボランティアの方に書き起こしをしてもらって、職員が確認するなど。